

【様式②】 特定公民連携事業（大東市による評価）

大東市による評価

特定公民連携 事業名	深野北小学校跡地活用プロジェクト
特定公民連携 推進法人	株式会社アクティブ・スクウェア・大東
事業実施期間	令和４年７月１日～令和９年６月３０日

Ⅰ. 特定公民連携事業の５つの条件について

	項目	所見
１	複数の地域経営課題を解決しているか	<p>「歴史・文化等、観光資源の未活用」というエリアの都市経営課題に対し、子ども・大人向けのスポーツ事業、大東の歴史をテーマにした朗読劇やコンサート、相撲体験を実施するなど、解決に向けた取組を続けている。</p> <p>「高齢者世帯の増加」「学生の市外への転出」といった地域課題に対しては、同エリア内で活動する団体や他の施設と連携し、若い世代が住みたくなるまちとなるよう取組を進めていく必要がある。</p> <p>また、市が所有する土地・建物を民間事業者の有償貸付をするという事業スキームは、他の公有財産においても展開できるものである。</p>
２	地域一体の価値を向上させているか	<p>「ココロとカラダの稽古場」と定義した開発理念のもと、「日常と非日常が体験できるサービス」や「学校という特色を活かしたサービス」を進めるなど、エリア一帯の賑わい創出に一定、寄与している。今後、これらの取組を地域により周知していくことが、必要であると考えられる。</p>
３	地域経済の発展および地域経済の循環に寄与しているか	<p>地域の人材を職員として雇用すること、また、自主イベントの開催や飲食店の開業を通じ、市内外から人が訪れることにより、地域経済の発展、循環に寄与していると考えられる。今後、施設やイベントの広報に力を入れ、より一層の交流人口増加を目指していく必要がある。</p>

【様式②】 特定公民連携事業（大東市による評価）

4	公的負担の軽減につながっているか	廃校状態の継続が、維持管理に伴う公の負担増加を要する一方で、民間事業者の活用により、当該負担の軽減につながっている。また、市が管理・運営を委託する指定管理者制度ではなく民間独自で経営する公民連携手法を用いたことも、公的負担の軽減に寄与している。
5	金融機関等から資金調達を行うなど自立のかつ持続的な事業となっているか	(株)アクティブ・スクウェア・大東の関連会社や民間金融機関からの資金調達を実施し、自立の、持続的に事業を進めている。

2. 維持管理業務についての評価

（リスク分担表に基づき、特定公民連携事業推進法人が実施すべきものについて）

	項目	実施状況
1	設備保守管理	リスク分担に基づき、修繕等維持保守管理を実施していただいた。その他、施設内設備機器の保守管理についても、引き続き利用者の安全を第一に考え、管理を徹底していただきたい。
2	屋外管理	清掃や草刈りなど、以前よりも頻繁に施設管理に取り組んでいただいている。地域住民や利用者の印象に大きく関わるため、今後も引き続き徹底していただきたい。
3	修繕等	経営に支障が生じる等の理由による修繕希望がある場合は、該当箇所の状態、賃貸借契約書に基づくリスク分担などを明確にして、本市に連絡をいただき、協議するという形で今後も進めていきたい。

【様式②】 特定公民連携事業（大東市による評価）

3. 特定公民連携事業審査会における指摘事項について

	項目	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証の定期的な実施 ・収支の健全性確保 	<p>事業の検証を行う場として、年に一度、一年間の事業実施状況等の評価し、翌年度につなげる機会を設けている。契約 4 年目までは本市と特定公民連携推進法人の二者のみで実施し、最終年度のみ、本事業や公民連携事業に関し見識を有する有識者等が参画する評価委員会とする。</p> <p>経営状況については、依然厳しい状況ではあるが、飲食事業等の利用率向上、イベント開催時の露店出店、地域イベント時のグラウンド開放等、利用者増加や収入増加に向けた対策を講じることで、年度ごとに利益の増加は見られている。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・収支状況のチェック体制 ・事業者に寄り添った事業の実施 	<p>年に一度、決算報告書を提出いただき、行政にて収支状況等の確認を行っている。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携事業効果の最大限の発揮 	<p>本事業の可能性を再認識の上、市の他の施策との連携、連動を意識して経営を進めて行くためにも、双方が密に情報を共有し、可能性を引き出す姿勢をさらに持つべきであると考えます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、地元との連携強化 ・賑わい創出、価値向上に繋がる仕組みづくり 	<p>地域住民に対しては、花火や露店出店、ハロウィンイベント等を実施することで、施設を知っていただき、開かれた施設にしていくための取組を行っている。今後は、施設に訪れていただいた方と積極的に交流できるような場を設け、当施設に対してどのような思いを持っているのかなどをお聞きし、今後の運営に活かしていく必要がある。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・くつろいで滞在できる空間、施設の運営 	<p>デッキを開放し、スポーツ事業やイベント等に参加する子どもの保護者が気軽に滞在できるようにする等、工夫をしていただいている。今後は、明確な目的がなくても、地域住民がふらっと訪れてくつろでいけるような施設となるよう、様々な仕掛けを講じていただきたい。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア価値向上を意識した施設改修、整備 	<p>利用する上で、本当に必要な修繕や整備を見極めるためにも、利用者の意見を常に聞き、リスク分担に準じた修繕計画を立てていただきたい。</p>

【様式②】 特定公民連携事業（大東市による評価）

4. その他（自由記述）

自主イベントの開催や飲食店の開業などをきっかけに、地域住民や地元の方に施設を訪れていただく機会は、以前と比較して増加しているように感じる。今後は、継続して施設を利用していただけよう工夫を講じるとともに、地域との連携を強化し、より地元扎根した施設としていくことが求められる。引き続き、市と民間事業者で密に連携を取りながら、公民連携施設としてより一層エリア価値の向上に寄与できるようにしていきたい。